



## 2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月10日

上場会社名 株式会社 石川製作所  
コード番号 6208 URL <https://www.ishiss.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小長谷 育教  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 企画管理部門長 (氏名) 野口 俊和 TEL 076-277-1411  
定時株主総会開催予定日 2023年6月23日 有価証券報告書提出予定日 2023年6月28日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	12,593	4.2	207	14.3	217	9.2	167	16.5
2022年3月期	12,079	6.1	181	13.1	199	24.2	143	15.6

(注) 包括利益 2023年3月期 203百万円 ( 2.7%) 2022年3月期 209百万円 ( 20.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	26.19		3.9	1.4	1.7
2022年3月期	22.48		3.5	1.3	1.5

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 百万円 2022年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	15,032	4,365	29.0	684.41
2022年3月期	16,405	4,162	25.4	652.52

(参考) 自己資本 2023年3月期 4,365百万円 2022年3月期 4,162百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	1,285	158	920	1,128
2022年3月期	1,889	440	1,378	921

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期		0.00		0.00	0.00			
2023年3月期		0.00		0.00	0.00			
2024年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,900	5.1	5		10		20		3.14
通期	13,500	7.2	200	3.5	175	19.6	130	22.2	20.38

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	6,385,972 株	2022年3月期	6,385,972 株
期末自己株式数	2023年3月期	7,122 株	2022年3月期	7,075 株
期中平均株式数	2023年3月期	6,378,881 株	2022年3月期	6,379,003 株

(参考)個別業績の概要

2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	8,275	7.0	17	19.7	87	6.0	96	5.0
2022年3月期	7,734	8.7	21	12.8	92	27.2	91	7.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	15.05	
2022年3月期	14.33	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2023年3月期	10,321		3,136		30.4		491.64	
2022年3月期	10,795		3,004		27.8		470.94	

(参考) 自己資本 2023年3月期 3,136百万円 2022年3月期 3,004百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループの当連結会計年度における受注高は141億13百万円(前連結会計年度比10.7%減)となり、売上高は125億93百万円(前連結会計年度比4.2%増)となりました。

当社グループのセグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### 紙工機械

受注高は38億50百万円(前連結会計年度比88.0%増)、売上高は27億43百万円(前連結会計年度比59.0%増)となりました。

#### 受託生産

受注高は18億40百万円(前連結会計年度比44.7%増)、売上高は18億38百万円(前連結会計年度比54.9%増)となりました。

#### 防衛機器

受注高は78億35百万円(前連結会計年度比34.7%減)、売上高は75億43百万円(前連結会計年度比13.8%減)となりました。

#### その他

受注高は5億86百万円(前連結会計年度比19.5%増)、売上高は4億67百万円(前連結会計年度比12.3%増)となりました。

損益面におきましては、紙工機械と受託生産の受注高増加に伴い売上高が増加しました。売上高の増加に伴い、営業利益は2億7百万円(前連結会計年度比14.3%増)となりました。経常利益につきましては、2億17百万円(前連結会計年度比9.2%増)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、1億67百万円(前連結会計年度比16.5%増)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### a. 資産

流動資産は前連結会計年度末に比べ15億7百万円(11.8%)減少し、112億74百万円となりました。これは主に契約資産が13億56百万円、売掛金が3億65百万円それぞれ減少したことによります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ1億35百万円(3.7%)増加し、37億58百万円となりました。これは主に固定資産の取得により、無形固定資産が93百万円、投資有価証券の時価上昇により、投資その他の資産が31百万円それぞれ増加したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ13億72百万円(8.4%)減少し、150億32百万円となりました。

#### b. 負債

流動負債は前連結会計年度末に比べ12億98百万円(12.8%)減少し、88億23百万円となりました。これは主に短期借入金6億40百万円、契約負債が5億44百万円それぞれ減少したことによります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ2億77百万円(13.1%)減少し、18億43百万円となりました。これは主に長期借入金2億40百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ15億75百万円(12.9%)減少し、106億67百万円となりました。

#### c. 純資産

純資産合計は前連結会計年度末に比べ2億3百万円(4.9%)増加し、43億65百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益1億67百万円を計上したこと等により、利益剰余金が増加したことによります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の期末残高は、前連結会計年度末に比べ2億6百万円増加(前連結会計年度は71百万円増加)し、11億28百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は12億85百万円(前連結会計年度は18億89百万円の増加)となりました。これは主に売上債権、契約資産及び契約負債の減少額13億30百万円により資金の増加となったことによります。

#### b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は1億58百万円(前連結会計年度は4億40百万円の減少)となりました。これは主に固定資産取得による支出2億2百万円により資金の減少があったことによります。

#### c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における財務活動による資金の減少は9億20百万円(前連結会計年度は13億78百万円の減少)となりました。これは主に短期借入金の純減少額6億40百万円、長期借入金の返済による支出2億40百万円の資金の減少があったことによります。

### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、次期の連結業績を売上高135億円、営業利益2億、経常利益1億75百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1億30百万円と予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、また、海外からの資金調達が必要が乏しいことから、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	921	1,128
受取手形	345	191
売掛金	5,034	4,669
契約資産	2,547	1,190
仕掛品	2,337	2,283
原材料及び貯蔵品	1,495	1,645
その他	100	165
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	12,782	11,274
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,599	4,648
減価償却累計額	△3,546	△3,609
建物及び構築物（純額）	1,052	1,039
機械装置及び運搬具	4,675	4,664
減価償却累計額	△4,286	△4,241
機械装置及び運搬具（純額）	389	423
工具、器具及び備品	1,134	1,149
減価償却累計額	△1,047	△1,060
工具、器具及び備品（純額）	87	88
土地	928	928
リース資産	199	209
減価償却累計額	△110	△146
リース資産（純額）	89	62
建設仮勘定	2	16
有形固定資産合計	2,549	2,558
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	18	104
その他	46	53
無形固定資産合計	64	158
投資その他の資産		
投資有価証券	882	900
その他	133	147
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	1,009	1,041
固定資産合計	3,623	3,758
資産合計	16,405	15,032

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,760	2,665
短期借入金	3,710	3,070
1年内返済予定の長期借入金	240	240
契約負債	2,547	2,002
賞与引当金	169	198
受注損失引当金	—	23
製品保証引当金	2	2
その他	691	620
流動負債合計	10,121	8,823
固定負債		
長期借入金	1,025	785
退職給付に係る負債	772	785
その他	323	273
固定負債合計	2,121	1,843
負債合計	12,242	10,667
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	36	36
利益剰余金	1,654	1,821
自己株式	△8	△8
株主資本合計	3,682	3,849
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	479	515
その他の包括利益累計額合計	479	515
純資産合計	4,162	4,365
負債純資産合計	16,405	15,032

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	12,079	12,593
売上原価	10,415	10,874
売上総利益	1,664	1,718
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	473	478
役員報酬	177	187
その他	832	845
販売費及び一般管理費合計	1,483	1,511
営業利益	181	207
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	19	26
補助金収入	45	21
その他	8	7
営業外収益合計	73	54
営業外費用		
支払利息	51	39
その他	4	5
営業外費用合計	56	44
経常利益	199	217
特別利益		
投資有価証券売却益	—	8
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	8
特別損失		
固定資産処分損	2	5
特別損失合計	2	5
税金等調整前当期純利益	197	220
法人税、住民税及び事業税	94	94
法人税等調整額	△40	△41
法人税等合計	53	53
当期純利益	143	167
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	143	167

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	143	167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66	36
繰延ヘッジ損益	△0	—
その他の包括利益合計	65	36
包括利益	209	203
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	209	203
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,000	36	1,411	△7	3,439	412	0	413	3,853
会計方針の変更による累積的影響額			100		100				100
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,000	36	1,511	△7	3,539	412	0	413	3,953
当期変動額									
親会社株主に帰属する当期純利益			143		143				143
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						66	△0	65	65
当期変動額合計	—	—	143	△0	143	66	△0	65	208
当期末残高	2,000	36	1,654	△8	3,682	479	—	479	4,162

当連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,000	36	1,654	△8	3,682	479	—	479	4,162
当期変動額									
親会社株主に帰属する当期純利益			167		167				167
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						36	—	36	36
当期変動額合計	—	—	167	△0	167	36	—	36	203
当期末残高	2,000	36	1,821	△8	3,849	515	—	515	4,365

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	197	220
減価償却費	207	210
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8	29
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	—	23
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△5	12
受取利息及び受取配当金	△19	△26
支払利息	51	39
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△8
固定資産処分損益 (△は益)	1	5
売上債権の増減額 (△は増加)	△508	518
契約資産の増減額 (△は増加)	△2,547	1,356
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,306	△95
仕入債務の増減額 (△は減少)	512	△39
契約負債の増減額 (△は減少)	2,547	△544
未払又は未収消費税等の増減額	△12	△212
その他	221	△76
小計	1,960	1,412
利息及び配当金の受取額	19	26
利息の支払額	△51	△38
法人税等の支払額	△39	△114
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,889	1,285
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△438	△202
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	—	44
貸付金の回収による収入	1	—
資産除去債務の履行による支出	△2	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△440	△158
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,410	△640
長期借入れによる収入	300	—
長期借入金の返済による支出	△227	△240
リース債務の返済による支出	△40	△40
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,378	△920
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	71	206
現金及び現金同等物の期首残高	850	921
現金及び現金同等物の期末残高	921	1,128

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしました。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「紙工機械」、「受託生産」及び「防衛機器」を報告セグメントとしております。「紙工機械」は、段ボール製函印刷機械等の紙工機械の製造販売を行っております。「受託生産」は、他社から各種機械の生産を受託しております。「防衛機器」は機雷、航空機用電子機器等の製造販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報  
前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	紙工機械	受託生産	防衛機器	計		
売上高						
一時点で移転される財	1,724	1,187	4,146	7,058	416	7,475
一定の期間にわたり移転される財	—	—	4,604	4,604	—	4,604
顧客との契約から生じる収益	1,724	1,187	8,751	11,663	416	12,079
外部顧客への売上高	1,724	1,187	8,751	11,663	416	12,079
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	32	32
計	1,724	1,187	8,751	11,663	448	12,112
セグメント利益又は損失(△)	△170	46	836	711	28	740
セグメント資産	2,123	735	10,774	13,633	439	14,073
その他の項目						
減価償却費	31	27	142	201	6	207
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	84	38	285	408	12	420

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれないセグメントであり、主に電子機器、繊維機械等の製造・販売を行っております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	紙工機械	受託生産	防衛機器	計		
売上高						
一時点で移転される財	2,743	1,838	3,585	8,167	467	8,635
一定の期間にわたり移転される財	—	—	3,958	3,958	—	3,958
顧客との契約から生じる収益	2,743	1,838	7,543	12,125	467	12,593
外部顧客への売上高	2,743	1,838	7,543	12,125	467	12,593
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	31	31
計	2,743	1,838	7,543	12,125	498	12,624
セグメント利益又は損失(△)	△139	104	729	694	63	757
セグメント資産	2,845	916	8,005	11,767	569	12,337
その他の項目						
減価償却費	49	41	111	203	6	210
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	92	65	152	310	9	319

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれないセグメントであり、主に電子機器、繊維機械等の製造・販売を行っております。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	11,663	12,125
「その他」の区分の売上高	448	498
セグメント間取引消去	△32	△31
連結財務諸表の売上高	12,079	12,593

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	711	694
「その他」の区分の利益	28	63
セグメント間取引消去	△32	△31
全社費用(注)	△526	△519
連結財務諸表の営業利益	181	207

(注) 全社費用は、当社グループの管理部門に係る費用であります。

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	13,633	11,767
「その他」の区分の資産	439	569
全社資産(注)	2,332	2,695
連結財務諸表の資産合計	16,405	15,032

(注) 全社資産は、主に当社グループにおける余資運用資金(現金及び預金他)、長期投資資金(投資有価証券他)等があります。

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	201	203	6	6	—	—	207	210
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	408	310	12	9	—	—	420	319

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	652.52円	684.41円
1株当たり当期純利益	22.48円	26.19円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	4,162	4,365
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	4,162	4,365
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	6,378,897	6,378,850

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	143	167
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	143	167
普通株式の期中平均株式数(株)	6,379,003	6,378,881

(重要な後発事象)

該当事項はありません。